



# すまいるだより

## 「お子さんに生活のしづらさがあるときは」

### vol 32

#### 【子育てのご相談】

子育て世代包括支援センター  
「えがお」(健康福祉課内)  
電話 0241(62)6170  
メール egao@naniainzu.org

「えがお」の職員は、いつでも相談をお待ちしています。

今回は「」に着目！

「すまいるポイント」

**近**頃、子育てに悩む親御さんから「うちの子は発達障がいでしょうか?」と、質問を受ける機会が増えています。

もしかかもしれないと思い始めるのは、大抵の場合、集団生活を始めるとき。

このような事態が、実際に起きています。

**お**そらく、「発達障がい」という言葉が一般的になり、情報が広まったことで、お子さんにとって、より良い関わりをしたいと考える方が、増えてきた結果なのだろうと思います。

**家**庭では伸び伸びと生活できるのに、集団生活では実力を発揮しづらい場合があるからです。

**家**族同士であっても、子育てに自信をなくしてしまふ方もいるでしょう。

**し**かし、言葉や情報が独り歩きし、お子さんが何を感じて、どう行動しているか、という視点が抜けてしまつては意味がありません。

**例**えば、お母さんの視点で「うちの子が、集団生活を送るためにはコツがいる」と感じていても、お父さんは「考えすぎ、何とかなる」と思っている。

**自**信をなくすといっても、「言ったことが伝わらない」「何をしても泣いてしまふ」といった、お子さんへの関わり方で悩む方。「持ち方・結び方が不器用」「よく食べ物をこぼす」といった、不器用さに悩む方。あるいは「じつとしていない」「同じ行動を繰り返す」といった、行動面の不安から悩む方など、理由はさまざま。

**お**子さんを感じている「生活のしづらさ」を、どう和らげるか、という視点を大切にしましょう。

**兄**弟や姉妹の立場では「あいつはわがままだ」と悩み、おじいさん・おばあさんは「両親が甘やかしてばかりいるから、いつまでたつても手がかかる」と困っている。

**お**子さんができないことを探し出すと、心配ごととは次々と見つかり、先が見えない悪循環につながります。成長しないお子さんなど

**親**御さんが、お子さんに「生活のしづらさ」がある

**お**子さんができないこと

**お**子さんができないこと

**親**御さんが、お子さんに「生活のしづらさ」がある

**お**子さんができないこと

**お**子さんができないこと

**親**御さんが、お子さんに「生活のしづらさ」がある

**お**子さんができないこと

**お**子さんができないこと

**ま**ずは「生活のしづらさ」に周り早く気づくこと。子どもにとって分かりやすい教え方、得意な部分を伸ばす環境づくりによって、成長を促すことが大切です。

1 子どもができないことを探すのではなく、できるように工夫する視点が大切

**人**には、得意・不得意があつて当たり前。そう考えれば、お子さんの特性で周囲を困らせることがあつても、わざとではなく、ましてや育て方の問題ではないことが分かります。

2 周囲を困らせている発達の特性は、わざとではなく、子育てが原因でもない。

**人**には、得意・不得意があつて当たり前。そう考えれば、お子さんの特性で周囲を困らせることがあつても、わざとではなく、ましてや育て方の問題ではないことが分かります。

3 お子さんに「生活のしづらさ」があるときは、ご相談ください。

#### 【おすすめ図書】



発達障がいの歴史は、周囲の理解不足が原因で

幸せ子育ての手引き  
田中康雄／著